

## 団長の独り言

10月7日(土)「懐かしき稽古場」

約25年前、劇団ふあんハウスが本格的に活動を開始したのは、港区にある東京都の施設だった。

そこから約19年間、劇団ふあんハウスはそちらの施設で劇団活動を行ってきた。夜の稽古は元より、時には朝も昼も平日も！自主稽古、会議、打ち合わせ、面談等、ありとあらゆる劇団活動で施設を利用して頂いた、劇団ふあんハウスの本拠地と言ってもいい施設だった。

しかし、2017年1月末に上演した「すぽっとらいとiin板橋」を最後に、拠点を变える事となり、その年の3月、新たななる地の公共施設で、劇団ふあんハウス第二章とでもいべき活動を開始した。

それから6年半が経った、前回公演「人生芸夢〜夢のとおり道〜」の打ち上げの席での事。

たけもっちゃん(竹本和弘)が、「またあそこの稽古場で、稽古をやってみたらどうなんでしょう？」と思ってもよらない提案をしてきた。

最初、私は戸惑ったのだが、「出来るかどうか調べてみて」ってな感じの話をしたら、翌日、彼は早速電話にて問い合わせしてくれて、話がドンドン進み、私とたけもっちゃん、千秋ちゃん(鈴木千秋)とで、直接施設に出向く事となり、その後も何度

となく足を運び、1から手続きを行い、審査やらなんやらを経て、なんと！再び利用させていただく事となったのだ。

6年半も経っているのに、館長を始め、職員の方も総入れ替えしていて、顔見知りの方はいなくなっただけで……ん？当時新人だったAさんが、「平野さん、ご無沙汰してます！」って声を掛けて来て下ったのは嬉しかったなあ。

ちょうど8月のお盆の真っただ中、利用させていただく際の説明を受けるため、館長さんとお会いした際、劇団ふあんハウスが25年前からこちらで活動をしてきたという話をさせていただくと、「では平野さんの方が、私よりもこちらの事は詳しいですね」と笑顔でおっしゃっていただくその言葉を受け、あらためてこの会館と劇団ふあんハウスの関わりの方々と、そして劇団の歴史を噛みしめる。

その懐かしの稽古場での稽古初日。開始時間の30分以上前に到着した私は、玄関から中に入る前に建物を見上げ大きく深呼吸。

た〜くさんのメンバー達とここで出会い、喧々諤々、怒って笑って涙して……解散の危機にも何度か直面したのもこの稽古場だったし、「もぉ〜いい！ほんまに今回の公演が終わったら、もう辞める！」って、稽古中何度も何度も思ったのも、この稽古場だった。

ただいざ本番を迎え、大勢のお客様から温かい拍手と、ありがたいアンケート結果をいただく、「辞める」なんて気持ちはどこへやら……よし！次もやるか！」

って思い、私を信じてくれる多くのメンバー達に支えられながら活動を続け、港区や板橋区からの共催をいただくようになり、さあ！これからだ！って時に

こちらの施設を去る事になり、それでも「負けるもんかあ！」精神で、メンバー達とともに新天地でも「熱意とやる気さえあれば、障害があるうがなかるうが本物の芝居が出来る！」っていう設立時からのスローガンを事を貫き続け、いつしか

「もぉ〜今回で辞める！」なんてことも思わなくなり、まあ〜毎回苦勞は絶えないけれど、25周年を迎える事が出来るまでに成長し、そして！今回、この稽古場に帰ってきたのだ。

感無量……って言葉を思い浮かべつつ、6年半前と比べると変わらぬ建物を見上げ、2階にある稽古場へ向かう階段を1段1段踏みしめ、稽古開始時間までの間、自動販売機前の丸テーブルに腰を落ち着ける。

稽古開始10分前、メンバー達が楽しそうに続々とやってくる。

今、このメンバー達と、ここで芝居の稽古が出来るとても不思議だけど、すごく嬉しい！この日利用するこの部屋というのが、まさに第1回公演「風に吹かれて」の稽古を行った部屋なのだ。

その後、劇団の規模が大きくなり、2部屋ぶち抜き部屋を主な稽古場として利用させていただく事になるのだが、4回公演まではメインの稽古場は確かこの部屋だったんじゃないかな？

そういえば、前回公演の「人生芸夢〜夢のとおり道〜」での主題歌「夢のとおり道」を作ってくれた劇団創立メンバーの佐々木幸重ちゃん(旧姓・藤田幸重さん)も、この部屋のそのピアノを奏でながら稽古を盛り上げてくれたんですよ！

そんな事を思い出しつつ、気持ちを前向きに切り替えて、キャスト発表後の最初の読み合わせを開始する。

どの役者も「ダメだ……こりゃ〜」って感じではなかったけれど、場面によってはダメを出したくなるメンバーが何人もいた。

しかし、今日のところは好きなように演じてもらいつつ、「まどろっこしいから、このセリフはいらぬ。」と感じるセリフはジャンジャンカットしていきながら、ラストのクライマックスシーンを残して、この日の稽古は終了した。

「果たして面白い作品になるのか？」

それは今の段階での読み合わせではなんとも言えないけれど、本番まで3か月しかないわけで、ここからはもう、懐かしい稽古場とかそんな感傷に浸っている場合ではない。

「熱意とやる気」でガンガンやって行こうと思うので、皆さん！頼みますよ。